

みおしえ学習会の特徴

1. スタッフはファシリテーター（フロントで進行役）と裏回し（サイドで DVD の操作等）の二人一組で行うことができる
2. 支部スタッフとの事前勉強会は必要なく、開催者とファシリテーターとの打ち合わせだけで良い
3. 講話に代えて DVD を使用するため、講師によるバラツキが無い
4. 所要時間は 100 分前後のため、午前中や夕方の開催も可能
5. 隣の人との話し合い（サイドトーク）を行うので、ねりあい苦手な人も参加しやすい
6. 開催人数は 12 人～24 人を想定しているため、大勢の人を集める必要がない

みおしえ学習会のねらい

このみおしえ学習会には、色々な狙いがありますが、その中でも大事なことは二つあります。一つは問題を考え、答えを導くことで、自分自身の心の中を深く省みること、もう一つは他の受講者の意見を聞き、自分との違いを知ることで、教えに基づいた気づきを得ることです。

※ 自分では思いつかない発想やヒント又は他人とのシンパシーを得る

ファシリテーター（進行役）の役割と心得

ファシリテーターが果たす役割はとても大きく、実際のテクニックだけでなく、その人柄や、信仰心、熱意等が重要視されます。

役割 1. 場作り…受講者が安心して考え、意見が言えるような雰囲気を作る

場作りはプログラム開始前の集合の時から、既に始まっています。受講者がリラックスして参加出来るように、こちらから話しかけて明るい雰囲気を作りましょう。

最初のオリエンテーションが大事です、ウォーミングアップのつもりで、照れずに楽しく進めましょう。

※受講者には、説明口調にせず、笑顔で優しく話かけましょう。また早口にならないよう気を付けてください。

役割 2. 関係作り…受講者との良い関係を図りながら、意見を受け止め、そこに込められた意味や思いを引き出す

何よりも受講者から信頼してもらうことが大事です。耳で聞くのではなく、心で聞くつもりで接してください。

受講者の口調、表情、態度に気を配り、相手のペースに合わせて、頷いて聞きましょう。

※先ず受講者をよく観察してください。自分の目線や身体の向きを受講者に合わせてください。話が聞きにくい時や、わかりにくい時は優しく聞き返したり、手助けをしてあげてください。

役割 3. 導き出し…受講者が進んで学習できるように支援し、うまくことが運ぶようにする

時間配分（ペース配分）に気を付けて、焦っている感じや、ダラダラしたイメージを与えないように工夫しましょう。

※受講者の良い所を褒めたり、共感して、良い意見を導き、良い流れを作ってください。又、良い意見が出た時は、受講者全体に共感してもらいましょう。

役割 4. まとめ作り…受講者の意見の良い所をまとめて、全体で分かち合う

実際に出たそれぞれの意見の良い所をまとめ、足りない所はファシリテーターが補ってください。

※各項目ごとにポイント（進行表に記載）があり、受講者全体に納得してもらえ、まとめ作りを心掛けてください。

※こんな所に気を付けよう

- ・ 時間配分を気にしすぎて、受講者を置いてきぼりにしないようにしましょう。
- ・ 自分が先ず、問の意図を理解して、受講者にも丁寧に説明しましょう。
- ・ 気に入らない意見に対して、感情的に対応したり、一方的に否定をしないようにしましょう。
- ・ 問題のある人を、放っておくと、全体に影響を及ぼします、早い段階で裏回しの人に対応してもらいましょう。

◇みおしえ学習会の目的とは

プログラムを学習していくことで、それぞれの内容に興味を持ってもらい、そのことをきっかけとして、さらなる学びを求め、教会との繋がりを深めることを、目指しています。

※ プログラムの内容や進め方を十分に理解した上で、スムーズに進行できるようにご準備ください。

基本的には進行表通りしていただければ、できるようになっていますが、よく読み込んで、自分なりのやり方を研究し、自分の言葉で話せるように練習してください。

※ ファシリテーターになられる皆さんは、今日からみおしえ学習会の営業マン、宣伝マンです。

どうかそのおつもりで、各教区、各支部への働きかけを、よろしくお願いします。